

私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

知的障がい者疑似体験チーム 「ぴーす&ピース」！

「ぴーす&ピース」は、たつの市の手をつなぐ育成会会員8人・行政職員12人・地域の人11人・社協職員1人で構成されたチームです。平成24年に市内で起こった悲しい事件をきっかけに人権教育の特別事業に関わった、たつの市手をつなぐ育成会会長の矢野一隆さんの「知的障がいをみんなに『楽しく』理解してほしい」との思いから始まった活動です。

◆本県初の「ぴーす&ピース」講演開催

去る6月3日、寒川町の町民センターにて茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会主催の体験講座「知的障がいの人ってどんな感じなの？」を開催しました。講師は兵庫県たつの市を拠点に活動する「ぴーす&ピース」。当日は障害児・者の家族や福祉事業所職員の他、民生委員児童委員、行政職員、社会福祉協議会職員、保育士など、80人を超える方々が集まり、大盛況でした。



ぴーす&ピース講演の様子

◆広げよう！地域の啓発につなげよう！

「ぴーす&ピース」は、平成26年4月に行った自治会研修を皮切りに活動を開始。現在も月約3回のペースで啓発を続けています。

ペットボトルや軍手など身近な物を使っての知的障害者疑似体験は分かりやすく実践的。誰もが「うちでもやってみよう！」と応用しやすい内容です。

(福)茅ヶ崎市社会福祉協議会では、知的障害や自閉症を理解するための福祉プログラムづくりを進めていますが、早速このぴーす&ピースの講演内容を取り入れた疑似体験について検討が行われ、複数の親の会と協働して、知的障害や自閉症の啓発活動が始まりました。



茅ヶ崎市社協福祉プログラム検討会

今月は ⇒ **神奈川県自閉症児・者親の会連合会**
がお伝えします！

1968年4月設立。県内11地区（横浜市・川崎市を除く）の自閉症児・者親の会による連合会です。行政施策の研究・提言、当事者・家族のためのミーティング運営、療育者等に向けた勉強・セミナー運営等、自閉症児・者と家族の支援や、自閉症スペクトラムの理解を進めるための活動を各市町村及び県に向けて展開しています。

〈連絡先〉**Mail** info-kas@kas-yamabiko.jpn.org
URL http://kas-yamabiko.jpn.org/

◆活動にかける想いはどこから？

ぴーす&ピースの講演は楽しく、まるで関西の芸人さんのお笑いを見ているような感覚で思わず引き込まれてしまう魅力があります。その中で講師の矢野さんから「知的障がい者が地域で暮らすためには、少数の専門家より大勢の半専門家が必要」「だから、法律があることより、『近所のおばちゃん』が理解することが大切」「『共生社会』とは、障がいのある人と障がいのない人が同じ楽しさを感じられる社会」「だから皆で共に笑い合うことが大切！ぴーす&ピースの講演も楽しくないとダメ」と、障害のある娘さんを育てる中で得たさまざまな気付きが語られました。

◆地域のネットワークを活かして

さらにぴーす&ピースの注目すべき点は、民間や行政等、さまざまな立場の人が関わっていることです。

目的に向かって共に活動することで生まれる柔軟な気持ちや、たつの市の人たちの立場を越えた真の「協働」につながっている、と感じました。

インフォメーション

◆ぴーす&ピース連絡先

〒679-4129 兵庫県たつの市龍野町堂本139-8

Mail uuki67219@leto.eonet.ne.jp

◆『知的障害疑似体験』をしてみませんか？ぴーす&ピースがやってきます！！

主催：川崎市育成会手をつなぐ親の会

日時：11月24日(金)午前10時から正午まで

会場：ユニオンビル会議室2階(川崎市中原区小杉町3丁目264番地3)

☎070-6969-2641

定員：100名(申し込み先着順)